

## (別紙) 削減・簡素化が可能な工事関係図書の一覧

番号	名 称	削減・簡素化の考え方	分類
1	工事着手届	着手日を指定することに加え、コリンズの記載内容を受注者からの着手日報告と解釈することにより削減できる。	削減
2	下請負届	施工体制台帳に必要事項が含まれるため削減できる。	
3	主要資材発注予定報告書	工場検査を要する材料等がモデル工事においては無いため削減できる。	
4	材料搬入予定調書	工場検査を要する材料等がモデル工事においては無いため削減できる。	
5	コリンズ登録内容確認書	オンライン上で確認できるため削減できる。	
6	現場代理人及び主任技術者等通知書	経歴書の提出については、必要な場合に限り提出することとする。	簡素化
7	各種報告書	店社印の押印を求めないこととする。	
8	建設業退職金共済制度加入確認書	現場への掲示状況写真を添付することで、別途工事写真としての提出は不要とする。	
9	施工計画書	必須記載項目を厳選し、簡素化する。	
10	使用材料承諾願	監督・検査上不要なパンフレット等の添付は行わないこととし、簡素化する。	
<p>工事情報共有システムを活用して提出する書類については、電子データと紙との二重提出をしないこととする。</p>			

### ○ 提出書類の削減

5種類の書類を削減する。

現在45種類 ⇒ 削減後40種類 (約1割削減)

### ○ 提出書類の簡素化

5種類の書類を簡素化する。